

第15回 ロビー音楽会



演奏 : 九州交響楽団の仲間たち

日時 : 2011年6月23日(木)
午後6時30分開演

会場 : 前田病院外来ロビー

「 Yama ちゃんの

おしゃべりコンサート 6月 」

ヴィオラ奏者山下典道「Yama ちゃん」の司会進行でお届けする
室内楽のひとつときを、どうぞお楽しみください。

〈演奏 九州交響楽団の仲間たち〉

扇谷泰朋 (九州交響楽団ソロコンサートマスター)

原雅道 (九州交響楽団アシスタントコンサートマスター)

山下典道 (九州交響楽団ヴィオラ奏者)

猿渡友美恵 (九州交響楽団ヴィオラ奏者)

中川淳一 (ピアニスト)

< プログラム >

☆愛の挨拶 (エルガー)

Va 猿渡友美恵、 Pf 中川淳一

☆メヌエット (ベートーベン)

☆母の教えてくれた歌～歌曲集「ジプシーの歌」より (ドヴォルザーク)

Vn 原 雅道、 Va 猿渡友美恵、 Va 山下典道

☆ブランデンブルグ協奏曲第6番～第3楽章 (バッハ)

Va 猿渡友美恵、 Va 山下典道、 Pf 中川淳一

☆無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番より「シャコンヌ」 (バッハ)

Vn 扇谷泰朋

~~~~ 休憩 ~~~~

### ☆ロンドンデリーの歌 (イギリス民謡)

Va 猿渡友美恵、 Pf 中川淳一

### ☆ハンガリー舞曲第2番 (ブラームス)

### ☆オブリビオン「忘却」 (ピアソラ)

Vn 原 雅道、Pf 中川淳一

### ☆涙そうそう (BEGIN)

### ☆さとうきび畑 (寺島尚彦)

Vn 原 雅道、 Va 山下典道

### ☆マイウェイ (フランソワ&ルヴォー)

Va 猿渡友美恵、 Va 山下典道

### ☆ラ・カンパネラ (パガニーニ)

Vn 扇谷泰朋、 Pf 中川淳一



**医療法人慈善会 前田病院**

〒848-0027 佐賀県伊万里市立花町 2742-1

TEL 0955-23-5101 FAX 0955-23-3315

URL:<http://www.maeda-imari.or.jp>

## エドワード・エルガー（1857～1934）

### 《愛の挨拶》

エルガーはイギリスのウスター近郊のプロードヒース生まれの作曲家。「愛の挨拶」は婚約者アリス（ピアノの弟子）のために作曲したもの。優美で親しみやすい旋律は、多くの人に受け入れられている。このエルガーが作曲した行進曲「威風堂々」は、イギリスの第二の国歌『希望と栄光の国』と称され親しまれている。

## ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン（1770～1827）

### 《メヌエット ト長調》

誰もが聴いたことのある可愛い旋律の曲。

## アントニン・レオポルト・ドヴォルザーク（1841～1904）

### 《母の教えてくれた歌～歌曲集「ジブシーの歌」より》

1880年、ドヴォルザーク39歳のときに作曲された歌曲集「ジブシーの歌」に収められた一曲。『昔、母がこの歌を私に教えてくれたとき、母はその目に涙を浮かべていた。今、私とその歌を子どもに教えようとしているが、私の目からも涙が溢れて止まらない。』

遠い昔の懐かしい思い出を呼びさます旋律は、歌曲としてだけではなく、さまざまな楽器によりひろく演奏されている。

## ヨハン・ゼバスティアン・バッハ（1685～1750）

### 《ブランデンブルク協奏曲第6番～第2,3楽章》

ブランデンブルク辺境伯に献呈されたことから、「ブランデンブルク協奏曲」と呼ばれる。自筆譜には「いくつもの楽器による協奏曲集(Concerts avec plusieurs instruments)」とフランス語で記されているだけである。それまでに作られた協奏曲の中から6曲を選び、編成の大きい順に並べたものと考えられている。第6番はワイマール時代に作曲されたとされており、曲集の中では最初期のもの。ヴァイオリンが入らない編成で、ヴィオラ・ダ・ガンバ やチェロなどの中～低音弦楽器とチェンバロにより演奏されるもので、協奏曲というよりも室内楽的である。全体にゆったりとした豊かな響きの漂う楽曲であるが、第3楽章はヴィオラの軽快な掛け合いが楽しい。

### 《無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番より「シャコンヌ」》

無伴奏ヴァイオリンのためのソナタとパルティータ BWV1001-1006 は、3曲のソナタと3曲のパルティータの合計6曲からなる。古今のヴァイオリン独奏の楽曲の中でも、頂点をなす作品。全6曲中でこのシャコンヌはもっとも有名な曲であり、非常に難易度の高い技巧を求められるとともに、崇高で深い精神性をも内蔵している。

## ニコロ・パガニーニ（1782～1840）

### 《ラ・カンパネッラ》

La campanella はイタリア語で小さな鐘の意味。ヴァイオリン協奏曲第2番第3楽章は『鐘のロンド』と呼ばれ、教会から鳴り響く鐘の音を表したものと言われる。高度の演奏技術を要する難曲のひとつである。リストがピアノ用に編曲したものも、超絶技巧のピアノ曲として有名である。